

看護学科における教育評価の指針

1. 教育評価の目的

教育評価は、教育の改善を目的とした活動であり、FDの一環として位置づけられる。本来、教育評価は、教員が自身の教育実践を相対化し具体的な出来事や結果をとらえなおすことを通して、教育者としての在り方を問うという意味がある。教員それぞれが自己の教育観に立ち返り、評価のための評価ではなく、評価から始まる教育の意味を重く受けとめ、今後の教育実践に役立つ教育評価に取り組みたい。

2. 教育評価の構成

本学科における教育評価の構成を図1に示す。

教育評価には、カリキュラム評価と授業評価が含まれる。ここで言う教育評価とは、本学科の教育目的・目標（大学の教育目標 医学部の理念を基盤とする）から立ち上がるカリキュラムと授業科目について、教育の実施状況と学生（卒業生も含めて）の反応から、教育の成果と課題を客観的に明らかにすることである。

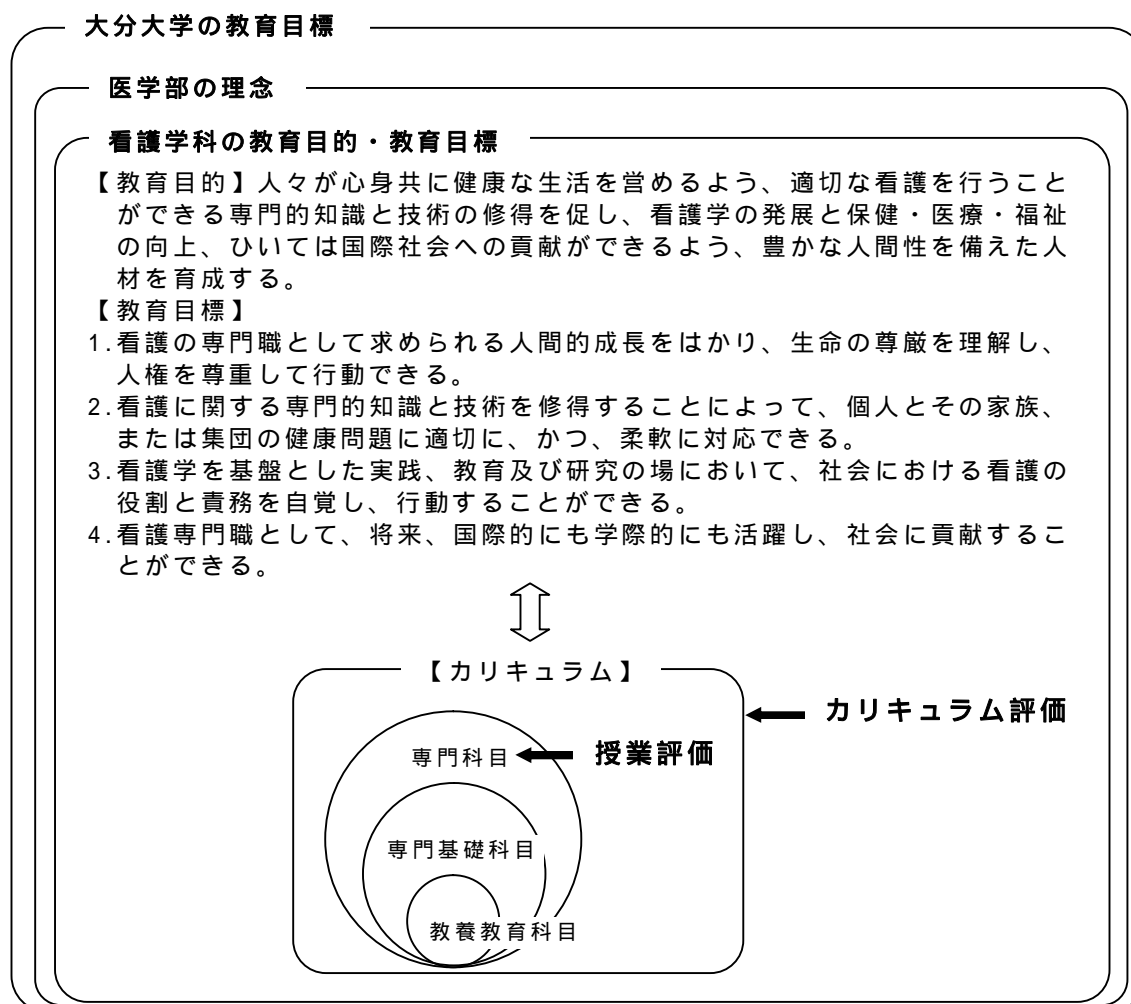


図1 教育評価の構成

3. 教育評価の種類と実施

1) 教育評価の種類

教育評価の種類は、以下の通りである。

授業評価：専門科目の授業科目責任者が、それぞれの評価方法によって、実施した授業の成果や課題を明らかにする。カリキュラム部会は、年度末に全専門科目の授業評価をとりまとめ、冊子「Course Evaluation」を発行する。

カリキュラム評価

- a. 在校生の学習状況に基づくカリキュラム評価
 - ・看護学科各部会の企画による評価検討会（適時開催）
 - ・卒業時学生に対する調査（毎年度実施）・・・冊子「Course Evaluation」に掲載
- b. 卒業生・就職先指導者によるカリキュラム評価（適時実施）
 - ・卒業生に対する調査
 - ・就職先の指導者に対する調査

2) 教育評価の実施

これらの教育評価の実施は、図2に示すように、大学 医学部 看護学科の中期目標・中期計画、認証評価、法人評価、自己点検評価、教員評価に基づき、組織的にすすめられる。

また、看護学科内での教育評価は、カリキュラム部会が年間計画を立案し、学科内に周知することにより計画的にすすめる。

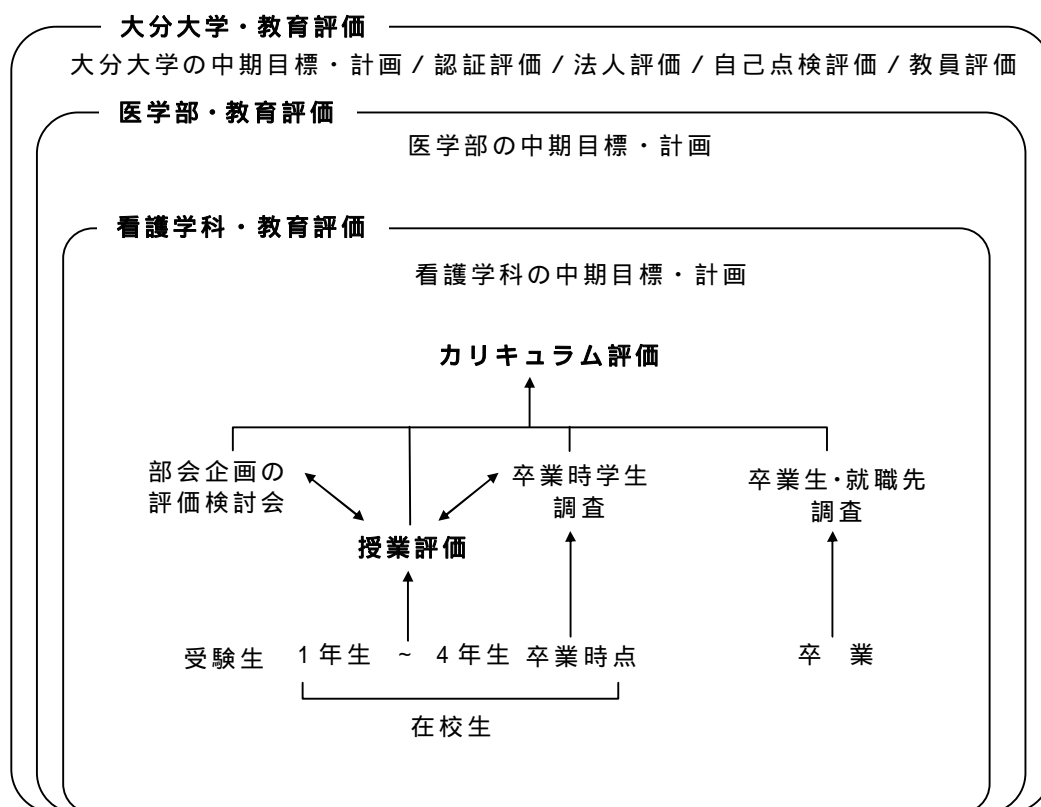


図2 教育評価の実施

（出典：平成16年10月看護学科作成）